

## MDM サービス「VECTANT SDM」システムインフラを Microsoft Azure へ移行

株式会社アイ・エス・ビー（本社：東京都品川区、代表取締役社長：若尾一史 以下、当社）が提供するモバイルデバイス管理（以下 MDM）サービス「VECTANT SDM」は、システムインフラを Microsoft Azure へ移行しました。



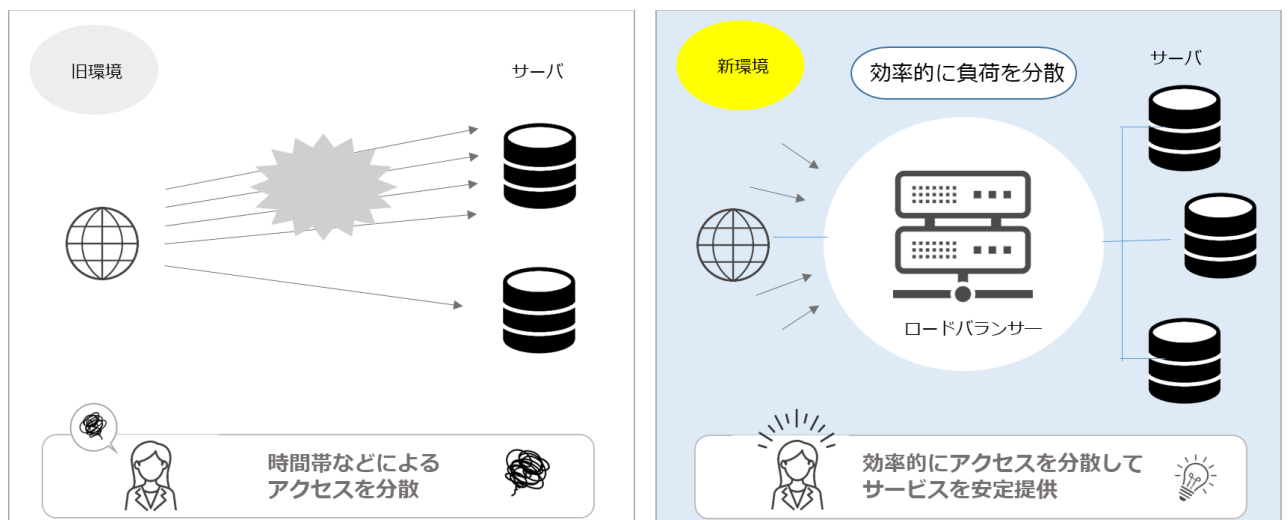
### 1. 概要

VECTANT SDM のシステムインフラとして、これまでデータセンターにて運用してまいりましたが、Microsoft が提供するクラウド環境（Microsoft Azure）に移行し、サーバ構成、周辺設備を刷新いたしました。

システムインフラをクラウド化することにより、負荷集中時のパフォーマンス維持・向上、高可用性、柔軟な拡張性を実現し、更なるサービス品質向上を進めてまいります。

#### ■ 負荷分散、拡張性

今までサーバへアクセスが集中した場合、時間帯などの分散を行ってまいりましたが、アクセスするアプリケーションサーバを効率的に負荷分散します。



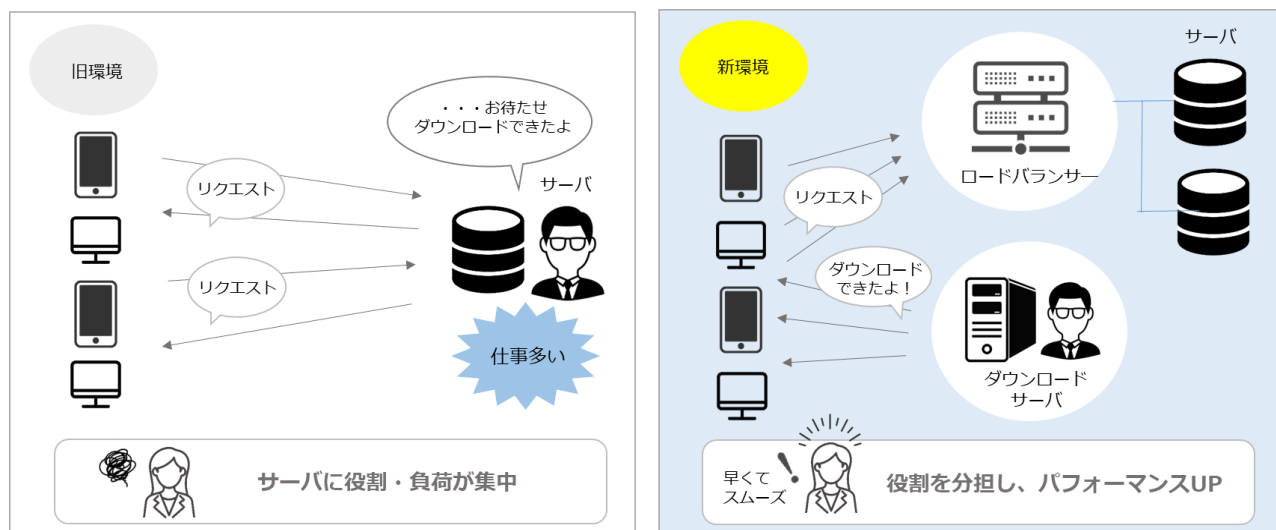
#### ■ 速度改善

サーバのパフォーマンス向上、およびシステム構成の改善により、通信速度を最大 167%改善しました。

※お客様の通信環境やデータ量により、増減します。

## ■ 高パフォーマンス

今までアプリケーションサーバがデータダウンロードも含めた役割を担っていましたが、明確にサーバの役割を分け、アプリケーションサーバの高負荷状態を回避します。



## ■ 高可用性 (システムを障害で停止させることなく、継続して稼働し続けられること)

データセンター運用における H/W 障害リスクを無くし、パブリッククラウドの可用性に準拠したサービスレベルを提供します。

## ● Microsoft Azure について

Microsoft Azure は、Microsoft が提供するクラウドプラットフォームです。システムインフラに必要な様々な製品・サービスを提供し、企業のソリューションを支えています。また、情報セキュリティに関する国際的な規格やガイドラインに準拠しており、政府機関での導入も行われるほどの高い信頼性を有します。

● 本製品について

VECTANT SDM は、企業などで利用する PC、スマートフォンやタブレットのモバイルデバイスに対して、端末利用状況の監視・紛失時の対策、端末へのセキュリティポリシーの適用、アプリやコンテンツ配信、および有効活用のために必要な機能を提供しています。デバイス管理（MDM）に加え、アプリ管理（MAM）、コンテンツ管理（MCM）に対応したエンタープライズモビリティ管理（EMM）プラットフォームを採用した国産の MDM サービスです。

また、Android/iOS/iPadOS/Windows/macOS と幅広い OS に対応しており、マルチ OS 管理が可能な製品として規模・業種・業態を問わず、幅広いお客様にご利用いただいています。



<https://sdm.isb.co.jp/>

◆本件に関する販売・技術的なお問い合わせ先：  
(株)アイ・エス・ビー サービスプラットフォーム推進部  
TEL 03-6893-2001  
連絡先：<https://sdm.isb.co.jp/contact.html>

◆本記事に対するお問い合わせ先：  
(株)アイ・エス・ビー 管理本部  
TEL 03-3490-1761 (代)  
連絡先：[ml-isb-info@isb.co.jp](mailto:ml-isb-info@isb.co.jp)  
Web：<https://www.isb.co.jp/contact-us/>

※ 本ニュースリリース記載の会社名・商品名は各社の商標または登録商標です。

※ 記載された内容は、2022年7月29日現在のものです。